

千寿にゆーす

二次補正 13億8千6百万

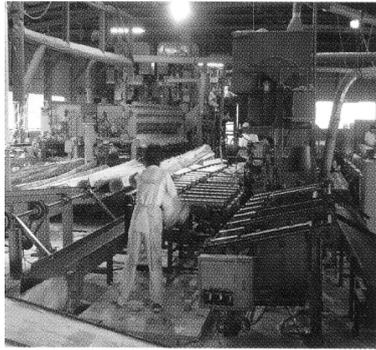
補正後の年間総予算381億6千万に

景気・経済対策が主

7月の臨時議会の補正に続き、今9月定例会でも補正予算の審議が主な議題となりました。

昨年の世界同時不況から、やや明るさが見られるようになってきたと、マスコミではいわれていますが、地方にあつては全くその実感がありません。

例議会では、景気・その中今9月定



(地場産業の振興が鍵)

経済対策や雇用対策・生活者対策を盛り込んだ補正予算(詳細次ページ以降)を中心とした9議案が提案され、すべての案件が可決されました。その結果、本年度予算は昨年度最終予算額を15億以上上回る、381億6千万となり、より充実した予算

林業の再生を目指し 国へ意見書を提出

森林業の危機が長期間指摘されています。しかし、その解決策は暗中

執行が求められると考えます。

男女共同参画社会推進 条例9月でやっと採択

本年3月に執行部から提案され、その時は修正案が二案出され、原案を含めすべてが否決された「条例」がこの9月議会で全員一致で採択されました。国が「基本法」を定めてから10年、遅きに失した感もありませんが、今後この条例に基づき日田市でも、より一層女性の社会進

模索の状況です。

それを打ち破るため、今回市議会として次のような主旨で国に意見書を提出することにしました。



住宅等を推進し国産材の利用拡大を図ること。

◆国産材の自給目標を50%とし、輸入の適正化を図ること。

◆国産材による住宅建築に対し、税制や金融面で優遇措置を講じること。

プラスワン

夏休み最後の日曜日、三隈川で「リバーフェスタ」が行われ親子連れなどで大変賑わったようです。

一昔いや二昔とまでは、三隈川周辺は大変賑わっていたと思っています。特に土日の夜は、六〇艘近くの屋形船が水面一面に灯を映し情緒ある景観が楽しめたものです。しかし、今はその見る影もなく、土日でも出る船の数はわずかばかりのようだ。

ある人が言っていました、「日田の観光復活は屋形船次第」と。なんとか工夫し三隈川に昔の夜の賑わいを取戻したいものだ。

認定子ども園で県へ意見書提出へ

急速な少子化や家庭を取巻く環境の変化により、就学前の保育や教育の需要が多様化しています。そのなかで、国は「認定こども園」

認定が行われてい

市民間保育園連盟

から「認定こども園」の認定に慎重

を期す請願が提出

されそれを受け、意見書として県に提出する決議が本

採択されました。

景気・経済対策

歳末年始の商戦に合わせ、地域商品券発行特別支援事業補助金をはじめ、**11事業1億2千71万円**の予算が組まれました。その詳細についてお知らせします。

9月補正予算の内容

携帯電話の不感地域解消事業

日田市内各地に残る、携帯電話の不感地域（携帯電話が使えない地域）を解消するため、今回の地域情報基盤整備事業（KCVサービスエリア以外の地域に光ファイバーを敷設し高速のインターネットや地上デジタルテレビが見られるようにすること）に併せ、携帯電話基地局までの伝送路を作る事業。

今回は第一期工事区間の大鶴、小野、東有田、大山、前津江、中津江、上津江が対象となります。

事業費 2千9百41万円。



限地区の街路灯を街並みにマッチしたものに整備すると共に三限川の周辺をライトアップしようとする事業計画です。限地区は観光環境は豆田に遅れているとよく聞かれます。これが、限地区の観光が活発化する機会になると考えています。特に、三限川周辺のライトアップは、この地域の景観をどう変化させるのか（良い方に）非常に興味しんしんです。事業費7千8百92万3千円。

その他の経済対策事業

- ・サッポロビール内「森の風」改修事業 1千2百60万円
- ・JRの大鶴駅、夜明駅のトイレの改修 2千1百18万3千円
- ・中学校太陽光発電設備設置事業 (追加校は東部中学、津江中学の2校) 7千7百27万円
- ・地区公民館施設改修事業 3千2百5万1千円
- ・体育施設整備事業 (平野球場防護マット設置、大原テニスコート証明改修、弓道場床等改修等) 1億91万4千円

発行総額 5億5千万円
 (プレミア10%、5千万円)
 発行部数 10万冊
 発行単位 一冊 5千円
 (500円券×11枚綴り)
 商品券利用期間
 平成21年10月31日～
 平成22年 1月31日
 総事業費
 5億6千万円のうち
市が5千4百50万円を補助するものです。

地域商品券発行特別支援事業
 景気回復が遅れる中、市内の小規模事業者の減収が見込まれるため、歳末年始の商戦に合わせて再度プレミア付き地域商品券を発行する経済団体に経費を助成するものです。

学校情報通信 技術環境整備事業

市内すべての小学校、中学校の全教職員に校務用のパソコンを整備するものです。コンピュータ6百33台とそれに伴う、印刷用のプリンターやそれを制御する各種サーバーも整備するものです。事業費は、2億7百47万5千円です。パソコンを使う授業等で、以前は教職員が良く使えないというようなことが指摘されていましたが、これでその指摘が解消できるよ期待します。



限地区街路灯整備事業

林道整備事業

林業、木材産業再生対策事業で、生活道として利用頻度の高い10路線の4,300mをコンクリート舗装します。事業費8千万円。その他、林道横畑～藤の木線を22年度実施予定の前倒しで、総延長1,579mのアスファルト舗装。事業費2千7百80万円。同じく、これも前倒しで林道祝川～祝川支線総延長1,144mをアスファルト舗装化します。事業費は、1,291万円。その他に、首都圏における日田材の需要拡大活動として、一戸あたり45万円を10戸分450万円補助する事業もあります。

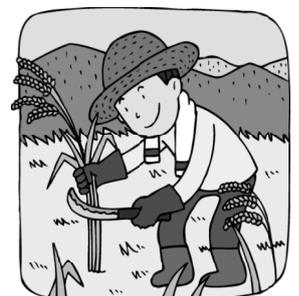
雇用対策

厳しさが増す雇用情勢の中、今回の補正予算でも15事業（35名分）の緊急雇用創出事業に3千5百99万円が組まれましたので、その主な事業内容の詳細をお知らせします。

分野	事業名	事業費 (千円)	事業内容	新規 雇用者	事業実施期間
医療	健康診査未受診対策事業	176万2千	健康診査の未受診者台帳を作成し、受診の勧奨を行う	2人	09年10月～10年3月
環境	公園てんぐす病防除事業	192万6千	公園内のさくらのてんぐす病の駆除をおこなうため、枝の剪定や薬剤散布を行う	2人	09年10月～10年3月
環境	保存樹、巨木調査事業	108万2千	市指定の保存樹、樹林及び巨樹巨木の台帳の整備を行う	2人	09年10月～10年12月
環境	不法投棄撤去事業（継続）	207万4千	不法に投棄された廃棄物を撤去し、生活環境の整備を図る（10月から3月までの後期分）	3人	09年10月～10年3月
観光	観光アンケート調査	217万8千	豆田地区を訪れる観光客に、旅行形態のアンケート調査を実施し、今後の観光行政の基礎資料を作る	3人	09年10月～10年3月
子育て	公立保育園保育補助事業	91万6千	質の高い保育サービスを提供するため、保育補助員を配置するもの	1人	09年10月～10年3月
子育て	チャイルドプラザ事業	102万5千	乳幼児を持つ親の負担を軽減を図るため、チャイルドプラザにおいて短時間託児を実施	1人	09年10月～10年3月
農林業	耕作放棄地調査事業	76万9千	耕作放棄地の現地調査を実施	1人	09年10月～10年3月
環境	美しいまちづくり事業	625万8千	美しいまちづくりのため、美化推進パトロール員6名を雇用し市内のパトロールを実施とで不法投棄、ポイ捨ての防止を図ると共に片付けも実施	6人	09年10月～10年3月
治安防災	緊急雇用道路パトロール事業（継続）	75万	市道のパトロール及び補修・草刈り等を実施 (雇用日数を月16日から20日に追加)		09年10月～10年3月

これらの事業の平均的な賃金は、事務所内の業務は5,600円/日で、外勤では7,800円/日となっています。現在はこの予算が組まれた以上に雇用情勢が悪化しています。今後も雇用施策について追求していきたいと考えます。

これらの他に、生活者対策として「子育て応援特別手当」（小学就学前3年（3歳から5歳）の児童一人当たり3万6千円を世帯主に給付する事業（総額1900人分、7千2百19万円）や地域介護・福祉空間整備事業（1千2百37万円）等があります。



親水性のある河川整備を

今回の一般質問では、教育問題を中心にやりましたが、「川を考える会」等から頂いていた河川環境についても3点ほど質問をしました。

要望の多いのは、「台霧大橋」の下の整備です。ここは、台霧の瀬にも近く子供連れの家族などがよく利用しています。お気づきでしょうか、「バーベキュー」等も楽しんでいるようです。

しかし、この場所は写真のとおり石が大小中様々ゴロゴロしています。

ここをコンクリート舗装なりとにかく安心して遊べるように整備すれば利用価値はさらに高まると考えます。執行部の答弁では、関係団体の意見が纏れば「国交省」に働きかけるとい



と。勿論、関係団体の意見は賛成です。一日も早く整備して親水性を高めたいと考えています。

この補正予算の見なしに伴う影響などについて質問がいくつもあり

「地方自治」に関する民
主党のマニフェストによれば、「地域のことは地域が決める」とあります。また、社会保障や義務教育関係の予算を除き、国のひもつき補助金は廃止し、地方の自主財源に転換するとなっております。

「自らが政策能力を発揮していく」そういった方向に議員自らが替っていく、これが「政権交代」でかわることと受け止めています。

10月1日から、「ポイ捨て等の防止に関する条例」が施行されることになりま

す。この条例に伴う「美化推進モデル地区」も認定されその認定書も当日各自治

体を手渡されました。私たちがの自治会も当然のごとく推進地区になりましたので、コツコツと地道に美化に努めたいと思つてい

ます。勿論、タバコのポイ捨ては罰則の規定がありま

すし監視員が注意することにもなります、捨てないことが協力ですので宜しく。



認定書の交付の様子。左の方に知っている人が写っているようですが、誰だったかなあ。

ポイ捨て防止で もつと綺麗な水郷へ

政権交代で どうかわるの？

祇園山鉾、道行の 支障電線の高架化

昨年度の補正予算で計画されていたパトリア前の集団顔見世に伴う市内中央部の電線の高架化が、そこでの顔見世が出来ないとのことで、その予算を活用し、市道淡窓町線や銭淵橋川原町側入口の電線やKCV線の高架化に変更になりました。その箇所も要望の強かったところで、まあ良かったと思っています。まだ他にも町内の高架化の要望も多く、現在各自治会に調査をお願いしているところです。国指定無形民俗文化財ですし、貴重な観光資源として守り続けていきたいと考えます。



孫二人と記念撮影